

7月度議員懇談会

ウィズコロナ時代の企業のあり方について懇談



議員懇談会の冒頭で挨拶する伊東会頭

7月度議員懇談会を7月1日午前11時から福井商工会議所ビルでリモート開催した。

開会にあたり伊東会頭は、3月から県内で被害が拡大した新型コロナウイルス感染症について触れ、「影響はいつたん収束するかに見えたが、東京や北海道などで第二波とも取れる感染拡大が発生している」と危機感をあらわにした。

さらに、経済指標の分析結果から「県内における有効求人倍率は1・66と43年ぶりの低水準となり、日銀短観では大企業の製造業の景況感が26ポイント

悪化しており、ウィズコロナ社会の中で産業をどう変化させていくかが大きなテーマとなる」と語った。

続いて、「新型コロナウイルスの影響を踏まえた世界経済動向とウィズコロナ社会」をテーマに、三菱総合研究所政策・経済研究センター長の武田洋子氏より卓話があった。

最初に、新型コロナウイルスの世界経済への影響について、武田氏は自社のアンケートに基づく3つのシナリオを挙げ、「6月以降に経済活動抑制が緩和され再流行を回避できたとしても世界の経済損失は760兆円、感染抑制に失敗し来年以降も断続的に経済活動が抑制された場合は1、310兆円に達する」との予測を示した。

また、日本経済への影響については「リーマンショック時をはるかに上回る景気悪化となっており、中小企業においては6月頃から4割近くが資金繰りに悪影響が出始め、これまで維持していた雇用についても企業が支えきれずにリストラが出る可能性も否定できない」と付け加えた。

感染症拡大の影響で個人消費も低迷が続いているが、武田氏は「所得が減少している世帯は全体の1割にも満たず、終息後は反動増が期待できる。た



懇談会はWeb会議システムを活用して開催された

だし今後は、ウィズコロナ時代に合致したライフスタイルへ消費者の意識が変化するため、それらを実現できる商品・サービスの提供が求められる。企業においても、それに対応した産業構造の変化が必要となる」と締めくくった。

【議員異動】（敬称略）

北陸電力(株)福井支店

(旧) 竹内 正美 (支店長)

(新) 村田 良昭 (支店長)

(株)北陸銀行福井地区事業部

(旧) 久保 泰一 (常務執行役員)

(新) 上願 宏幸 (常務執行役員)

事業開催結果

6.29

デジタルツールを活用！
上手に進めるテレワークセミナー

担当/デジタル活用ビジネス支援センター(まちづくり・産業振興課)



事業所から離れた場所でも資料を編集、共有できる「クラウドストレージ」の活用法やテレワークを導入している県内企業の取り組み事例を紹介。事例紹介では従業員の勤務管理の考え方等を聞き、デジタルツールを使って効果的にテレワークを進める方法を学んだ。

参加者/28名

講師/宍詩季 代表取締役 佐藤 宏隆 氏
(株)ザカモア 代表取締役 西村 拓朗 氏

会場/オンライン開催 (Web会議システム「Zoom」での配信)

5.27・6.3

これだけは覚えて！
「Web会議進行のポイント」

担当/デジタル活用ビジネス支援センター(まちづくり・産業振興課)



講師がWeb会議と対面会議との違いを踏まえ、会議中の質問やマイク設定、ルールの事前周知、随時反応を促す等、Web会議をスムーズに進行する為のコツを提示。グループ演習では、受講者が進行役や書記役を務め、Web会議独特の雰囲気を感じた。

参加者/32名

講師/株式会社ケーブル・コーポレーション 代表取締役 森川 徹志 氏

会場/オンライン開催 (Web会議システム「Zoom」での配信)

6.29

食中毒対策セミナー

担当/観光・サービス部会



食中毒が発生しやすい時期を控え、食中毒の発生原因となるウイルスや細菌への対処法について学ぶセミナーを開催。あわせて、新型コロナウイルスの影響で、新たにお弁当のテイクアウトを行う飲食店に対する注意事項も説明。セミナー終了後は質疑応答も行われた。

参加者/44名

講師/福井市保健所 生活衛生室 副主幹 山岸寛明 氏

会場/福井商工会議所ビル 地下 コンベンションホール

6.17

技術交流テクノフェア
実行委員会

担当/まちづくり・産業振興課



新型コロナウイルス感染症による影響を鑑み今年の「北陸技術交流テクノフェア」はWeb上での開催を決定した。11月1日より1カ月間、北陸の特長あるモノづくり技術をはじめ企業・研究機関・大学等の資料や動画情報をWeb上で発信する予定で、来訪者との情報収集・交流を促進していく。

参加者/24名

会場/福井商工会議所ビル 地下 国際ホール